

キャビ側、コア側の金型厚みを約40%削減 実際の事例

金型サイズ比較:

	キャビティ側			コア側		
	現状	ダブルラック	減少寸法	現状	ダブルラック	減少寸法
突出しストローク[mm]	180	103	77	180	119	61
ストツパ[mm]	190	135	55	68	10	58
プレート厚み[mm]	95	56	39	103	53	50
トータル減少寸法	465	294	171	351	182	169

CUMSAダブルラックを使用することにより金型厚みはトータル340mm削減！！！！



従来の傾斜コアとCUMSAダブルラックの比較

傾斜コア

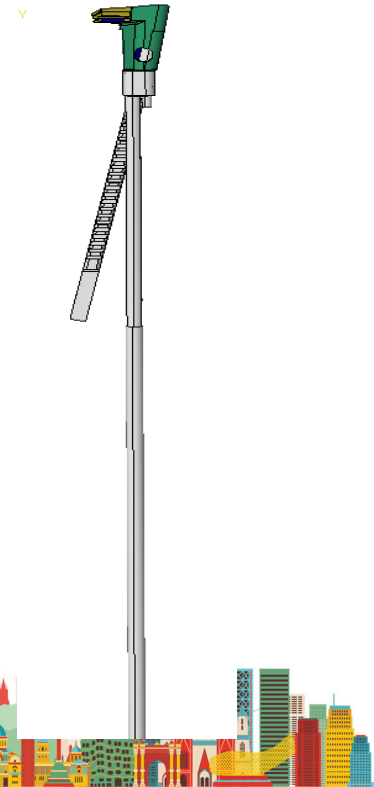
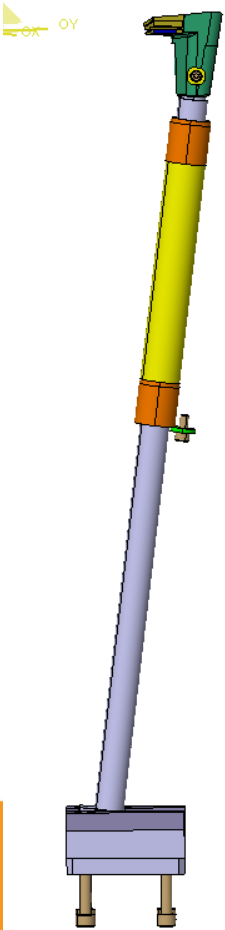


- ❌ 仕上げ、調整が難しい
- ❌ 斜め穴がガイドとなるため高精度の加工が要求される
- ❌ エジェクタプレートと主型を連結させる斜めのシャフトは高い精度で組み込む必要あり
- ❌ エジェクタプレートへの加工は高い精度が要求される。またベースを組み込むために最低限の厚みが必要。

CUMSAダブルラックシステム



- ★ コンパクト設計により仕上げ、調整が容易
- ★ 斜め穴加工は逃がし穴のため高い精度が不要
- ★ 高価な五軸加工は不要
- ★ 突出しストロークを減少
- ★ エジェクタプレートへの組み込みがシンプルかつ確実。



Prepared
for the
FUTURE

CUMSA
INNOVATIVE SOLUTIONS
FOR YOUR MOLDS